

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 2 月 12 日 (2021.2.12)

【公開番号】特開 2020-184752 (P2020-184752A)

【公開日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【年通号数】公開・登録公報 2020-046

【出願番号】特願 2020-73770 (P2020-73770)

【国際特許分類】

H 0 4 W 76/14 (2018.01)

H 0 4 W 92/18 (2009.01)

H 0 4 W 4/40 (2018.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 76/14

H 0 4 W 92/18

H 0 4 W 4/40

H 0 4 W 72/04

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 24 日 (2020.12.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の U E (ユーザ機器) が第 2 の U E とのユニキャストリンクのための S L R B (Sidelink Radio Bearer) 設定を要求するための方法であって、

前記第 2 の U E から第 1 のメッセージを受信することであって、前記第 1 のメッセージが、前記ユニキャストリンクのための第 1 の S L R B 設定を含み、前記第 1 の S L R B は、前記第 2 の U E から前記第 1 の U E への送信のために使用される第 1 の S L R B の R L C (Radio Link Control) モードを示す情報を含む、受信することと、

前記第 1 のメッセージが受信されたか、または前記第 1 のメッセージに関連する完了メッセージの前記第 2 の U E への送信に成功したことが確認されたときに、前記ユニキャストリンクのための、前記第 1 の U E から前記第 2 の U E への送信のために使用される第 2 の S L R B の第 2 の S L R B 設定を要求する第 2 のメッセージをネットワークノードに送信することであって、前記第 2 のメッセージは、P C 5 Q o S (Quality of Service) フローのアイデンティティを含む、送信することと、

前記ネットワークノードから第 3 のメッセージを受信することであって、前記第 3 のメッセージは、前記第 2 の S L R B 設定を含み、前記第 2 の S L R B 設定は、前記 P C 5 Q o S フローの前記アイデンティティおよび前記 R L C モードを示す情報を含む、受信することと、を含む方法。

【請求項 2】

第 4 のメッセージを前記第 2 の U E に送信することであって、前記第 4 のメッセージは、前記第 2 の S L R B 設定を含む、送信することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 のメッセージは、前記ユニキャストリンクのための P C 5 Q o S (Quality of Service) フローのアイデンティティを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 1 の S L R B 設定が前記第 2 の U E からパケットを受信するために適用され、前記第 2 の S L R B 設定が前記第 2 の U E へパケットを送信するために適用される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 1 のメッセージは、P C 5 R R C (Radio Resource Control) メッセージである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 4 のメッセージは、P C 5 R R C (Radio Resource Control) メッセージである、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 の U E は、R R C _ C O N N E C T E D である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記ネットワークノードは、基地局である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

第 2 の U E (ユーザ機器) とのユニキャストリンクのための S L R B (Sidelink Radio Bearer) 設定を要求する第 1 の U E であって、
制御回路と、
前記制御回路に設けられたプロセッサと、
前記制御回路内に設けられ、前記プロセッサに動作可能に結合されたメモリと、を含み、

前記プロセッサは、前記メモリに記憶されたプログラムコードを実行して、

前記第 2 の U E から第 1 のメッセージを受信することであって、前記第 1 のメッセージが、前記ユニキャストリンクのための第 1 の S L R B 設定を含み、前記第 1 の S L R B は、前記第 2 の U E から前記第 1 の U E への送信のために使用される第 1 の S L R B の R L C (Radio Link Control) モードを示す情報を含む、受信することと、

前記第 1 のメッセージが受信されたか、または前記第 1 のメッセージに関連する完了メッセージの前記第 2 の U E への送信に成功したことが確認されたときに、前記ユニキャストリンクのための、前記第 1 の U E から前記第 2 の U E への送信のために使用される第 2 の S L R B の第 2 の S L R B 設定を要求する第 2 のメッセージをネットワークノードに送信することであって、前記第 2 のメッセージは、P C 5 Q o S (Quality of Service) フローのアイデンティティを含む、送信することと、

前記ネットワークノードから第 3 のメッセージを受信することであって、前記第 3 のメッセージは、前記第 2 の S L R B 設定を含み、前記第 2 の S L R B 設定は、前記 P C 5 Q o S フローの前記アイデンティティおよび前記 R L C モードを示す情報を含む、受信することと、と行う、第 1 の U E 。

【請求項 10】

前記プロセッサは、前記メモリに記憶されたプログラムコードを実行して、

第 4 のメッセージを前記第 2 の U E に送信することであって、前記第 4 のメッセージは、前記第 2 の S L R B 設定を含む、送信することをさらに行う、請求項 9 に記載の第 1 の U E 。

【請求項 11】

前記第 1 のメッセージは、前記ユニキャストリンクのための P C 5 Q o S (Quality of Service) フローのアイデンティティを含む、請求項 9 に記載の第 1 の U E 。

【請求項 12】

前記第 1 の S L R B 設定が前記第 2 の U E からパケットを受信するために適用され、前記第 2 の S L R B 設定が前記第 2 の U E へパケットを送信するために適用される、請求項 9 に記載の第 1 の U E 。

【請求項 13】

前記第 1 のメッセージは、P C 5 R R C (Radio Resource Control) メッセージで

ある、請求項9に記載の第1のUE。

【請求項14】

前記第4のメッセージは、PC5 RRC (Radio Resource Control) メッセージである、請求項10に記載の第1のUE。

【請求項15】

前記第1のUEは、RRC_CONNECTEDである、請求項9に記載の第1のUE。

【請求項16】

前記ネットワークノードは、基地局である、請求項9に記載の第1のUE。